

古河市景観チェックシート《景観形成重点地区-公共施設地区-》

届出者氏名	
行為の場所	

次の項目について、チェック、または記述してください。

1は全ての届出について、2は届出の行為の種類に応じ①~⑤のうち該当するものについて記入して下さい。

1 共通基準

● **景観づくりのテーマ**(景観計画 P21)

歴史・文化・人がゆったりふれあう、風格・風情の香り漂う景観づくり

- **景観づくりの方針**(景観計画 P21)
 - ・歴史、文化景観の保全と創出
 - ・風格と風情ある街なみ景観の創出
 - ・ゆったりと歩いてふれあえる歴史、文化景観の創出
- 配慮するポイント (景観計画 P23「共通基準」)
 - ・風格ある歴史・文化景観との調和を図る
 - ・魅力ある都市景観の創出を図る
 - ・歴史・文化等の景観資源の保全に配慮する
 - ・大樹等の緑の保全に配慮する
- ※上記、景観づくりのテーマ・方針・古河市公共施設景観形成指針を踏まえ、届出対象地の開発における景観づくりのコンセプト(考えやねらい)を記入してください。

例 本届出地は、文化施設に隣接しているため、文化施設に調和する意匠とする。

※上記を踏まえ、景観に対して配慮、工夫したポイントを記入してください。

※古河の風景カタログにて参考にした写真があればページ番号等を記入してください。

例 Ⅱ-4-4 現代的素材と調和した洗練された雰囲気

2 行為ごとの景観形成基準

【①建築物】

項目	景観形成基準	チェック欄
	建築物を建築する位置や規模について、歴史・文化等の景観資源を阻害しないよ うに配慮している。	□はい □いいえ
	建築物の壁面の位置は、隣接する建物の位置に調和させるなど、歴史・文化地区	
位	にふさわしいゆとりと落ち着きのある街なみを形成している。	│□はい □いいえ │
位置配置等	(位置配置等の具体的な配慮事項)	
	(位置配置等で配慮できない理由)	
	できる限り歴史・文化景観と調和する形態意匠としている。	
	≪景観づくりの指針参考≫	
	和風建築の要素を取り入れたものとしている。(景観づくりの指針 P24)	□はい □いいえ
	城下町の風格ある景観形成のため、自然素材を有効に活用している。	
	(景観づくりの指針 P23)	
	歴史・文化地区としての落ち着いた街なみ景観を確保するため、できる限り高さ	 □はい □いいえ
	を抑えている。	
	周囲にある歴史的建造物や大樹に配慮した高さとしている。	□はい □いいえ
	屋根は、勾配屋根である。	
	≪景観づくりの指針参考≫	 □はい □いいえ
形能	できる限り勾配屋根を用い、庇を設けている。できる限り日本瓦又は銅板葺	
形態意匠	きとしている。(景観づくりの指針 P24)	
<u></u> 丘	隣接する建物間で、できる限り軒先の位置や勾配を揃え、連続する街なみ形成に	 □はい □いいえ
	努めている。	
	下屋、庇を設置したり、開口部は格子やすだれで覆うなどして、周辺の歴史・文	 □はい □いいえ
	化景観に馴染むような工夫に努めている。	
	低層部については、歴史・文化的街なみの連続性に配慮し、和風の形態意匠を採	┃ □はい □いいえ
	り入れている。	
	建築設備は、通りから直接見えない位置に配置している。やむを得ず通りに面し	
	て設置する場合は、設備を自然素材等で覆ったり、背景と同調する色彩で着色す	□はい □いいえ
	るなど工夫をしている。	
	屋外階段、ベランダ等については、建築物本体との調和を図りながら、歴史・文	□はい □いいえ
	化景観に馴染むよう形態意匠等の工夫をしている。	

	(形態意匠の具体的な配慮事項)		
	(沙鹿息匹で配慮できない空田)		
	建築物の屋根、外壁等の色彩は、白、黒、茶系色等の色彩を	シ 主調レー - 27下の事	
	で定める範囲で、できる限り低彩度としている。(伝統素材		
	を除く。)	7 (日然赤何ツ赤何丘	
	色相(系)	彩度	
	R (赤)	3以下	
	YR (黄赤)	5以下	│□はい □いいえ │
	Y (黄)	3以下	
	GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青),		
	PB (青紫), P (紫), RP (赤紫)	3以下	
色彩	屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし	ている。	□はい □いいえ
彩			□該当なし
	中高層部(5階建て以上の3階以上の部分)については、7	ボリューム感を抑える	□はい □いいえ
	色調とし、高明度かつ低彩度にしている。	-), we fill to //	□該当なし
	アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、**		□はい □いいえ
	積を抑えるとともに、歴史・文化景観や建物との調和に配	慮している。 	□該当なし
	(色彩の具体的な配慮事項)		
	(たがって)中でもかい畑中(
	(色彩で配慮できない理由)		
	る。		
	≪景観づくりの指針参考≫		
	歴史を感じさせる既存住宅等にあわせた屋根の素材の	活用に努めている。	
材 料	(景観づくりの指針 P23)	III/III = JJ v J C C C G G	
	建築材料には木や石、土など味わいの出る素材の使用	に努めている。	 □はい □いいえ
料 	(景観づくりの指針 P24)		
	外壁は蔵や和風建築に多用される漆喰壁や下見板張、	または、これらに類す	
	るデザインとなるよう努めている。(景観づくりの指金		
	建具は、木製または和風サッシの活用に努めている。		
	(景観づくりの指針 P24)		

	材料は、耐久性、耐候性、維持管理に優れたものを選定し、活用にあたっては、 耐震性等安全の確保に努めている。	□はい □いいえ
	(材料の具体的な配慮事項)	
	(材料で配慮できない理由)	
	道路に面する敷地境界を塀等で囲う場合は、安全を確保した上で、歴史・文化景	
	観を特徴づける自然素材や意匠を取り入れながら、風格ある街なみの連続性に配	
	慮している。	□はい □いいえ
	≪景観づくりの指針参考≫	□該当なし
	敷地意匠は風格ある街なみの連続に配慮したデザインとしている。 (景観づくりの指針 P23)	
	道路に面する敷地境界を緑で囲う場合には、歴史・文化景観に馴染む樹種や花木	□はい □いいえ
	等による生垣や植栽帯とするよう努めている。	□該当なし
	既存の樹木等緑の保全を図り、より風格ある歴史・文化景観の維持・創出に努め	
	ている。	
	≪景観づくりの指針参考≫	□はい □いいえ
	既存敷地の樹木にあわせ敷地内に緑を配置している。	
-12-1	(景観づくりの指針 P23)	
敷地利用	敷地内においては、できる限り豊かな緑化に務めている。	□はい □いいえ
利 用	規模の大きい敷地の道路に面する側においては、隣接敷地や公共空間に配慮しつ	 □はい □いいえ
713	つ、地区の風格形成に寄与する樹木や、彩りのあるハナモモ等の花木を植栽し、	□
	風格と魅力ある景観形成に務めている。	
	駐車場は、通りから見えない位置に配置している。やむを得ず道路に面して設置	
	する場合は、道路から自動車が見えにくい構造や位置とし、入口は周辺の歴史・	□はい □いいえ
	文化景観と調和した意匠や植栽としている。	
	立体駐車場は、車が直接見えないよう工夫しており、敷地内の建築物と調和した	□はい □いいえ
	配置、形態意匠になっている。	□該当なし
	設置する広告物は、自家用広告である。	□はい □いいえ
		□該当なし
	敷地内に設置される広告物は、敷地内の建築物本体及び歴史・文化景観と調和す	□はい □いいえ
	る高さ、位置、規模、形態意匠、色彩及び材料としている。	□該当なし
	建築物の屋上への広告物の設置及び窓面広告の掲出はしていない。	□はい □いいえ
		□該当なし

	動光・点滅するもの、ネオンサイン、大型映像看板(LED ビジョン等)、サーチライトなど、周辺の歴史・文化景観に馴染まない光源や形態意匠のものは設置していない。	□はい □いいえ □該当なし
	独立して設置する広告物の足元には、緑化を施している。	□はい □いいえ □該当なし
	(敷地利用の具体的な配慮事項)	
	(敷地利用で配慮できない理由)	
	一つの敷地に複数の建築物を設ける場合には、施設相互間の調和及び周辺の歴 史・文化景観との調和に配慮している。	□はい □いいえ □該当なし
その他	(その他の具体的な配慮事項)	
	(その他で配慮できない理由)	

【②工作物】

景観形成基準	チェック欄
建築物の基準に準じている。やむを得ず建築物の基準に準ずることができない場合は、 工作物の種類及び用途に応じて形態等に工夫し、周辺の歴史・文化景観との調和を図っ ている。	□はい □いいえ □該当なし
(工作物の具体的な配慮事項)	
(工作物で配慮できない理由)	

※以下は、建築物を工作物と読み替えて、チェック、または記述してください。

項目	景観形成基準	チェック欄
位置配置等	建築物を建築する位置や規模について、歴史・文化等の景観資源を阻害しないよ うに配慮している。	□はい □いいえ
	建築物の壁面の位置は、隣接する建物の位置に調和させるなど、歴史・文化地区 にふさわしいゆとりと落ち着きのある街なみを形成している。	□はい □いいえ
	(位置配置等の具体的な配慮事項)	
	(位置配置等で配慮できない理由)	
	できる限り歴史・文化景観と調和する形態意匠としている。	
	≪景観づくりの指針参考≫	
	和風建築の要素を取り入れたものとしている。(景観づくりの指針 P24)	□はい □いいえ
	城下町の風格ある景観形成のため、自然素材を有効に活用している。	
	(景観づくりの指針 P23)	
	歴史・文化地区としての落ち着いた街なみ景観を確保するため、できる限り高さ	 □はい □いいえ
形	を抑えている。	
形態意匠	周囲にある歴史的建造物や大樹に配慮した高さとしている。	□はい □いいえ
匠	屋根は、勾配屋根である。	
	≪景観づくりの指針参考≫	 □はい □いいえ
	できる限り勾配屋根を用い、庇を設けている。できる限り日本瓦又は銅板葺	
	きとしている。(景観づくりの指針 P24)	
	隣接する建物間で、できる限り軒先の位置や勾配を揃え、連続する街なみ形成に	
	努めている。	□はい □いいえ

	下屋、庇を設置したり、開口部は格子やすだれで覆うなど 化景観に馴染むような工夫に努めている。	して、周辺の歴史・文	□はい □いいえ
	低層部については、歴史・文化的街なみの連続性に配慮し り入れている。	、和風の形態意匠を採	□はい □いいえ
	建築設備は、通りから直接見えない位置に配置している。	 やむを得ず通りに面し	
	て設置する場合は、設備を自然素材等で覆ったり、背景と	同調する色彩で着色す	 □はい □いいえ
	るなど工夫をしている。		
	屋外階段、ベランダ等については、建築物本体との調和を		
	化景観に馴染むよう形態意匠等の工夫をしている。		□はい □いいえ
	(形態意匠の具体的な配慮事項)		I
	/形を立てて町虚べさない(四十)		
	(形態意匠で配慮できない理由)		
	建築物の屋根、外壁等の色彩は、白、黒、茶系色等の色彩	た甘細し1 円下の主	
	で定める範囲で、できる限り低彩度としている。(伝統素材や自然素材の素材色 を除く。)		
		-	
	中 和(糸)	一	
	色 相 (系) R (赤)	彩 度 3以下	
	R (赤)	3以下	□はい □いいえ
	R (赤) YR (黄赤)	3以下 5以下	□はい □いいえ
	R (赤) YR (黄赤) Y (黄)	3以下	□はい □いいえ
	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青),	3以下 5以下	□はい □いいえ
	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫)	3以下 5以下 3以下 3以下	
色	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青),	3以下 5以下 3以下 3以下	□はい □いいえ
色彩	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし	3以下 5以下 3以下 3以下	□はい □いいえ □該当なし
色彩	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、	3以下 5以下 3以下 3以下	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ
色彩	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし
色彩	R (赤) YR (黄赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。 アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える できる限り使用する面	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ
色彩	R (赤) YR (黄赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。 アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、 積を抑えるとともに、歴史・文化景観や建物との調和に配	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える できる限り使用する面	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし
色彩	R (赤) YR (黄赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。 アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える できる限り使用する面	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ
色彩	R (赤) YR (黄赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。 アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、 積を抑えるとともに、歴史・文化景観や建物との調和に配	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える できる限り使用する面	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ
色彩	R (赤) YR (黄赤) Y (黄) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。 アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、 積を抑えるとともに、歴史・文化景観や建物との調和に配 (色彩の具体的な配慮事項)	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える できる限り使用する面	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ
色彩	R (赤) YR (黄赤) YR (黄赤) Y (黄) GY (黄緑), G (緑), BG (青緑), B (青), PB (青紫), P (紫), RP (赤紫) 屋上設備等の色彩は、建築物等と同系色の色彩を基調とし 中高層部 (5 階建て以上の 3 階以上の部分) については、 色調とし、高明度かつ低彩度にしている。 アクセントカラーを使用する場合は、高彩度の色は避け、 積を抑えるとともに、歴史・文化景観や建物との調和に配	3以下 5以下 3以下 3以下 ている。 ボリューム感を抑える できる限り使用する面	□はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ □該当なし □はい □いいえ

	石材、木材、煉瓦など歴史・文化景観を特徴づける材料の選定や活用に努めてい	
	る。	
	 歴史を感じさせる既存住宅等にあわせた屋根の素材の活用に努めている。	
	 (景観づくりの指針 P23)	
	 建築材料には木や石、土など味わいの出る素材の使用に努めている。	□はい □いいえ
	 (景観づくりの指針 P24)	
	 外壁は蔵や和風建築に多用される漆喰壁や下見板張、または、これらに類す	
	 るデザインとなるよう努めている。(景観づくりの指針 P24)	
材 料	 建具は、木製または和風サッシの活用に努めている。	
什	(景観づくりの指針 P24)	
	材料は、耐久性、耐候性、維持管理に優れたものを選定し、活用にあたっては、	
	耐震性等安全の確保に努めている。	□はい □いいえ
	(材料の具体的な配慮事項)	
	(材料で配慮できない理由)	
	道路に面する敷地境界を塀等で囲う場合は、安全を確保した上で、歴史・文化景	
	観を特徴づける自然素材や意匠を取り入れながら、風格ある街なみの連続性に配	
	慮している。	□はい □いいえ
	≪景観づくりの指針参考≫	□該当なし
	敷地意匠は風格ある街なみの連続に配慮したデザインとしている。	
	(景観づくりの指針 P23)	
	道路に面する敷地境界を緑で囲う場合には、歴史・文化景観に馴染む樹種や花木	□はい □いいえ
	等による生垣や植栽帯とするよう努めている。	□該当なし
-124	既存の樹木等緑の保全を図り、より風格ある歴史・文化景観の維持・創出に努め	
敷 地	ている。	
利用	≪景観づくりの指針参考≫	□はい □いいえ
Л	既存敷地の樹木にあわせ敷地内に緑を配置している。	
	(景観づくりの指針 P23)	
	敷地内においては、できる限り豊かな緑化に務めている。	□はい □いいえ
	規模の大きい敷地の道路に面する側においては、隣接敷地や公共空間に配慮しつ	
	つ、地区の風格形成に寄与する樹木や、彩りのあるハナモモ等の花木を植栽し、	□はい □いいえ
	風格と魅力ある景観形成に務めている。	□該当なし
	駐車場は、通りから見えない位置に配置している。やむを得ず道路に面して設置	
	する場合は、道路から自動車が見えにくい構造や位置とし、入口は周辺の歴史・	□はい □いいえ

	立体駐車場は、車が直接見えないよう工夫しており、敷地内の建築物と調和した	□はい □いいえ
	配置、形態意匠になっている。	□該当なし
	設置する広告物は、自家用広告である。	□はい □いいえ
		□該当なし
	敷地内に設置される広告物は、敷地内の建築物本体及び歴史・文化景観と調和す	□はい □いいえ
	る高さ、位置、規模、形態意匠、色彩及び材料としている。	□該当なし
	建築物の屋上への広告物の設置及び窓面広告の掲出はしていない。	□はい □いいえ
		□該当なし
	動光・点滅するもの、ネオンサイン、大型映像看板(LED ビジョン等)、サーチ	 □はい □いいえ
	ライトなど、周辺の歴史・文化景観に馴染まない光源や形態意匠のものは設置し	□ kv · □ v · v · ん □該当なし
	ていない。	口吹当なし
	独立して設置する広告物の足元には、緑化を施している。	□はい □いいえ
		□該当なし
	(敷地利用の具体的な配慮事項)	
	(敷地利用で配慮できない理由)	
	一つの敷地に複数の建築物を設ける場合には、施設相互間の調和及び周辺の歴	□はい □いいえ
	史・文化景観との調和に配慮している。	□該当なし
	(その他の具体的な配慮事項)	
その		
他		
	(その他で配慮できない理由)	

【③開発行為】

景観形成基準	チェック欄
開発行為では、地区の歴史・文化を生かした景観形成の向上に資するため、周辺景観と	□はい □いいえ
の調和に配慮している。	
開発行為等を行うに当たり、できる限り既存樹木・緑地の保全による風格ある街なみ景	□はい □いいえ
観の維持と自然環境保護への配慮を図り、緑化の推進に努めている。	
(開発行為の具体的な配慮事項)	
(開発行為で配慮できない理由)	

【④その他】

項目	景観形成基準	チェック欄
	できる限り現況の地形を生かし、長大なのり面及び擁壁が生じないよう配慮して	
	いる。	□はい □いいえ
	のり面の勾配は、できる限り緩やかにとり、緑化等による修景に配慮している。	□はい □いいえ
		□該当なし
	擁壁は、周辺景観との調和に配慮している。	□はい □いいえ
(開地		□該当なし
開発行為を除く)	擁壁は、前面の緑化等により景観への影響の軽減に努めている。	□はい □いいえ
為を質の		□該当なし
を除く)	(土地の形質の変更の具体的な配慮事項)	
[・] 史		
	(土地の形質の変更で配慮できない理由)	
	伐採は必要最低限に抑えている。	□はい □いいえ
		□該当なし
	可能な限り道路沿いやその他の公共空間に隣接する部分にある既存樹木の保全	□はい □いいえ
木	や移植に努めている。	□該当なし
木竹の	やむを得ず伐採する場合は、可能な限り周辺の植生や四季の移り変りに配慮した	□はい □いいえ
伐	緑化を行う等、緑の連続性を保つよう配慮している。	□該当なし
伐採又は植	(木竹の伐採又は植栽の具体的な配慮事項)	
植		
栽		
	(木竹の伐採又は植栽で配慮できない理由)	
	堆積の高さは、周辺景観を阻害しないよう、3m を超えない範囲でできる限り低く	 □はい □いいえ
	抑えている。	
	風致、美観を損ねないよう整然と堆積するよう配慮している。	□はい □いいえ
物	堆積物周辺への植栽、塀・囲いの設置等により、周囲の道路等の公共空間から容	 □はい □いいえ
物 件 の	易に望見できないよう配慮している。	
堆積	塀や囲い等の遮蔽物の高さは、樹木を用いる場合を除き、3m を超えないよう配慮	 □はい □いいえ
惧	している。	
	塀や囲い等の遮蔽物の色彩は、建築物の色彩基準で定める範囲内とし、周辺景観	
	を阻害しないよう、できる限り低彩度としている。	□はい □いいえ

(物件の堆積の具体的な配慮事項)
(物件の堆積で配慮できない理由)
(物川 *//在復 (日間)

【⑤その他良好な景観の維持】

景観形成基準	チェック欄
荒地化している空地については、良好な景観の維持、形成を図るため、定期的な草刈り	□はい □いいえ
や草花等による修景を行い、美化に配慮した維持管理に努めている。	□該当なし
(その他良好な景観の維持の具体的な配慮事項)	
(その他良好な景観の維持他の配慮できない理由)	